

平成30年12月分「市民の声」一覧

受付日	完了日	件名・内容	対 応	担当課
12月3日	12月14日	信号機の設置依頼 沼津市東椎路にできるららぼーと付近の十字路に信号機の設置をお願いします。 過去数回交通事故を起こしそうになったり、交通事故にあいそうになりました。 いつか絶対に事故は起きます。 夜は特に見通しが悪く歩行者、自転車わかりません。 信号機が絶対に必要です。	信号機の設置につきましては、管轄する警察署に要望をいただき、交差点や道路の条件などを総合的に判断し、公安委員会が設置の決定をいたします。 「仮称ららぼーと沼津」計画地周辺では、開業にあたり大きな交通の変化が生じることから、事業者、警察、道路管理者(国、県、市)で交通対策について協議を行っております。 ご意見をいただいた、ららぼーと付近の十字路においては、(都)金岡浮島線とららぼーと敷地間市道北側の交差点において、ららぼーと開業前の信号機設置が予定されております。 いただいたご意見については、沼津警察署とも情報共有し、今後とも交通対策に努めてまいります。	市街地整備課
12月12日	12月26日	障害福祉課職員の対応 先日、義理の息子が就労移行のサービスを利用したいということで市で会議を開いて頂きました。その結果、自分で就労活動ができるという見解でサービス利用は難しいと判断されました。しかし、今まで長期間働く事ができていないという事実があります。そして、自分で仕事を探す事ができれば苦労していません。 体験させて頂いた事業所の担当者さんは親身に相談を聞いて頂いたりとお世話になりましたが、結局入所できませんでした。しかし、その後も相談できる場所をいろいろと紹介していただきました。 市の職員にはもう少し一人一人の人生を真剣に考えて頂きたいです。入所していないのに市の担当時以上に親身になって考えて頂く事業所の方がいるのを忘れないで頂きたいです。	このたびは、ご本人が就労移行サービスを利用されるにあたり、同サービスを行う事業所での体験の振り返りや今後の方向性を検討するため会議を開催いたしました。その際、大変不快な思いをさせてしまい申し訳ございませんでした。 その会議の中で、ご本人が現にアルバイト就労をされていることが分かり、またもっと働くことで収入を得たいとお気持ちも伺ったことから、無給の就労移行サービスをご利用されるよりは、就職に関する相談や支援、就職後の職場定着支援等を行っている「障害者就業・生活支援センター」を紹介する方がよいとお話となりました。 その際、ご本人やご家族の皆様にはご理解いただけましたものと考えておりましたが、市の説明や対応に不足な点や分かりにくい点がありましたこととお詫び申し上げます。 今後は、今まで以上にお気持ちに寄り添った対応を心掛けてまいります。	障害福祉課

受付日	完了日	件名・内容	対 応	担当課
12月12日	12月26日	<p>バス会社の交通系ICカード導入促進 通勤等でいつもバスを利用しています。 バスを利用していると、いつも思う事があるので、市としてどうなのかをお伺いします。 件名にも記載しましたが、鉄道以外でもバスや物販購入でも、交通系ICカードが利用出来る時代になりました。 市内でも、物販購入や鉄道でも交通系ICカードが利用出来ますが、市内のバス会社3社あるうちの2社のみ、交通系ICカードが利用できず、現金や回数券、定期券などしか利用できません。 今現在、市内はラプライブ効果で多くのライバーの方々が、連日聖地巡礼に市内に訪れています。 色んな人から、聞いてると全国各地様々な所から聖地巡礼に訪れてるらしいですが、一番驚かれるのが、『バスで交通系ICカードが使えない』という事です。 他県等に行くと、バスでも交通系ICカードが利用出来ます。 市として各バス会社に導入を促進したり、導入促進に向けて、バス会社などに購入補助したりとかの対策などは無いのでしょうか？</p>	<p>交通系ICカードにつきましては、ご指摘をいただきましたとおり、市内を走るバス事業者において1社のみが導入している状況です。 市といたしましても、「アニメラプライブ！サンシャイン！！」のファンを始め、観光で市外・県外から多くの方々にお越しいただいている中で、利用者の利便性向上として、ICカード導入の有効性は認識しております。 バス事業者においても、必要性を認識しているものの、設備投資には莫大な経費を要し、費用対効果が見込めないため、実施に至っていないのが現状です。 本市では、分かりやすく利用しやすい環境づくりを目指し、バス事業者と連携して停留所や路線の改善などに取り組んでいるところです。今後、ICカードの導入につきましても、利便性向上や利用促進策の一つとして協議してまいります。</p>	まちづくり政策課
12月12日	1月9日	<p>筋力パワーアップ教室の増設 この筋力パワーアップ教室は高齢者が寝たきりや捻挫・骨折などをしないためとか日常生活を円滑にできるようにするために非常に役に立つ教室だと確信しているところです。 前にスポーツジムにいていましたが、このようなプログラムがありませんでした。 毎年、要介護・要支援者数が増加し、また、医療費の増加が財政を圧迫しています。 自分自身の健康に責任を持ち、普段から適度な運動が必要です。 この教室の対象者は65歳以上で65歳から79歳までの対象人数は男女併せて4万1千人ほどいるわけですが定員40人だとわずか0.1%です。勿論、運動がやりたくてもできない人などもいます。 応募人数が不明ですが、定員を増やすとかまた、週に火・木／水・金の2教室するとかして筋力パワーアップ教室の増設をお願いしたいと思っております。 ぜひ、沼津市の高齢者を元気にしてください！</p>	<p>筋力パワーアップ教室は、高齢者の筋力低下による転倒や骨折、身体能力や意欲の低下を防止し、習慣的な運動による介護予防を目的として、平成15年度から実施しています。 本教室は、参加することでストレッチ体操や筋力トレーニングの方法を習得するためのものであり、終了後は、ご自身の生活に合わせて運動が習慣化されることを目指した教室内容としています。 そのため、多くの高齢者が筋力パワーアップ教室に参加できるよう、初めて教室に申込みをした新規参加者を優先し、経験者については抽選としております。 現在、市では、教室で学んだ内容を基に自主的に運動を継続していただくために、教室の増設ではなく、地域のサロン等で体操を普及する健康体操サポーターを養成するなど、地域の方による地域での健康増進の場づくりの拡充を行っているところです。 また、健康体操サポーターが中心となり体操を行っているグループや、筋力パワーアップ教室経験者が集まり運動を継続しているグループもいくつかできているため、ご利用いただけますようお願いいたします。 ご希望があればお住まいの近くのグループを紹介させていただくこともできますので、ご連絡いただければと思います。</p>	長寿福祉課

受付日	完了日	件名・内容	対 応	担当課
12月12日	1月16日	<p>傷病休職中の教職員および障害者雇用の促進</p> <p>私は健康保険の傷病手当金の事務を行っています。最近特に由々しき事態と思うのは、働き盛りの40?50代の生真面目な中高年が、仕事上の人間関係等のトラブルから、これまでの自分の職責に自信を失いメンタルに支障をきたし、自宅長期療養を余儀なくされ、言わば中高年の引きこもりになっており、若年者の引きこもりと違って、その実態が一般には明らかにされず、福祉サポートの対象となっておりません。</p> <p>特に長時間労働やPTA対応等で心身困憊し、長期療養中の小中学校の教職員が多く、人材不足が叫ばれる中、経験豊富な人材が現場復帰できない状況は、大きな社会的な損失だと思っております。</p> <p>一度罹患すると繰り返してしまうため、その復帰にあたってはご本人ばかりではなく慎重かつ周囲の協力も不可欠であり、まずはご本人にあたっては体の健康を取り戻し、家から外に出ることが復帰の第一歩だと思えます。</p> <p>もしこのような教職員の復帰のきっかけ作りとして、教育委員会所属から1年程度市役所緑地公園課に期間限定で出向転属し、市内各所にある公園の花壇整備などの、昼間に太陽を浴びながら、気持ちの良い汗をかきような作業を経験して頂き、現在公園整備などでは、シルバー人材センターに依頼している分を、例えば障がいをお持ちの方・団体を起用することにより、市としての障がい者雇用促進にも寄与頂ければと存じます。本件非常に難しくナイーブな問題だと思っておりますが、ご検討をお願いします。</p>	<p>各学校では、教育課程の増加、いじめや不登校への対応、特別支援教育に対するニーズの増大、中学校部活動の土日での指導など、さまざまな課題等が増加し、教職員の多忙化につながっております。</p> <p>このため本市では、教職員の多忙解消や健康管理のため、出勤時間の適正管理や、中学校部活動の指導時間の制限のほか、学校長が教職員一人一人に目を配り、雰囲気の良い職場環境づくりに努め、子どもたちへの様々な課題に対しては職員が一人で抱えず、学校が組織体制で取り組んでおります。また、全教員にメンタルヘルスの自己診断を義務づけ、高ストレス者には医師との面談を指導しております。</p> <p>また、心身のバランスを崩し休養が必要となった教職員については、医師への受診や相談による心身の回復状況や、本人の意向、適正等も考慮し、学校での数週間の復帰訓練等を少しずつ行いながら、できるだけ早く職場復帰できるよう努めているところであります。このような教職員への対応として、公園整備などへの転属のご意見については、これまでの職場環境から少し離れ、体を動かしながらリフレッシュできる反面、人の目にも触れるなどから、慎重な対応が必要となりますが、本人の意向も確認しつつ、必要に応じ市関係部署や県教育委員会とも相談しながら、今後の対応の一案として、参考にさせていただきます。</p>	学校教育課
12月13日	12月28日	<p>ゴミ</p> <p>転勤族で、今まで日本三箇所まで生活し、現在は沼津で生活しています。</p> <p>沼津のゴミ回収に関し、疑問と不安があります。</p> <p>ペットボトル等日常で頻りに購入するものが月1とは、全国的にも、静岡東部近辺市町村と比較しても、あまりにも回収する頻度が低すぎます。</p> <p>三島、長泉、熱海は月に2回清水町は毎週(当方調べ)です。</p> <p>子供が複数いる家庭では、月1回の回収では、とてもじゃないけど追いつきません。今まで転勤した中で、一番居住環境が悪いです。高架がどうの議論がありますが、まず、市民の環境の向上に力を入れて下さい。</p> <p>この回収率では、ステーションにゴミを持っていけないお年寄り、子育て世代は本当に困ります。結局他市に人口が流れ、市税の流出にも繋がるんじゃないでしょうか。私の認識では、住みにくい町、沼津です。</p> <p>家の中に溜まったペットボトルの袋を見ると、高架の先にもやる事あるやろー！ツツコミ入れる自分がいます。早急の改善を要求します。</p> <p>ちなみに横浜、北九州は、毎週ビン、カンペットボトルの回収日がありました。</p>	<p>現在、家庭から出されるごみのうち、燃やすごみの日は週2回、プラスチック製容器包装の日は週1回、缶類・ペットボトルなどの資源回収の日と埋め立てごみの日が月1回の収集としています。</p> <p>燃やすごみはごみの種類の中で一番に多いごみで、生ごみ等を放置すれば悪臭や衛生上問題が発生するため、他のごみに比べ、すみやかに収集したいと考えています。</p> <p>次に、リサイクル率を上げるため、日々の食品や雑貨品に使用されているプラスチック製容器包装は重量は少ないものの、使用用途やその性質上嵩が多くなるのが特徴で週1回の収集は欠かせないと考えています。</p> <p>これに対し、資源や埋め立てごみは、燃やすごみに比べ量が少なく、腐らず保管できるため、月1回の収集をしております。特に缶類とペットボトルは回収袋を、乾電池は缶を排出・収集しやすいよう、収集日の前日に配付しており、他のごみより手間をかけた回収に取り組んでおります。</p> <p>沼津市では平成11年度からペットボトルの月1回の資源回収と「プラスチックごみ(現在の容器包装)」の週1回収集を始め、リサイクルの向上に取り組まれました。ごみの種類と量や性質から市民の皆様の生活に影響が出ないよう経費や効率的な収集を考慮し、回収回数を決めておりますことをどうぞご理解ください。</p> <p>ごみの収集は市町村により、それぞれ異なり、ペットボトルを月2回以上収集している市町村でも、沼津市が埋立ごみとして回収しているものが自己搬入や有料であったり、リサイクルしているプラスチック製容器包装が燃やすごみとして扱われているなど、それぞれの市町村の状況に応じて取り扱われています。</p> <p>ペットボトルのステーション回収をただちに月2回に増やすことは、市民の皆様の混乱、ステーションを管理していただいております各自治会の方に新たな負担がかかることにもなります。</p> <p>沼津市のペットボトル回収量は減少傾向にあり、最近の海洋汚染の問題もあるなど、今後の動向を見ながら、市民の皆様をできるだけ軽減し、かつ利便に供するよう、ごみの収集に努めてまいります。</p> <p>市では簡易包装の推進、買物袋の推奨、食品ロスの削減、資源化物の店頭回収等、積極的にごみの減量、リサイクル推進に取り組んでいる販売店、飲食店、宿泊施設を「すまいるしよっぷ」(沼津市ごみ減量・資源化推進協力事業所)として認定し、市民の皆様にご紹介しております。その認定事業所のうち、ペットボトルと空き缶両方の資源化物回収を実施している事業所(イトーヨーカ堂沼津店、オギノ沼津インター店、キミサワワラッチ香貴店、ピアゴ香貴店、ポテトマミー西沢田店、マックスバリュ沼津南店・原町西店・沼津沼北店・沼津カタクラパーク各店)などもあります。今後も円滑なごみ収集に努めてまいりますので、ご協力の程よろしくお願いたします。</p>	クリーンセンター収集課

受付日	完了日	件名・内容	対 応	担当課
12月17日	1月18日	<p>放課後児童クラブの時間</p> <p>今沼津市の保育園に通わせていただいている保護者ですが、小学校にあがると放課後児童クラブが18時までなので17:30までの仕事が終わってからの迎えに間に合うかどうか不安があります。</p> <p>最近まわりの市町村では18:30までの預りの放課後児童クラブが増えていますが沼津市は18時までなので私を含めて迎えが間に合わないという理由で他の市町村への移住も考える世帯もあるかと思えます。</p> <p>30分延長していただくと時間への不安も少なくなり安心して帰宅できる方も増えると思えますのでご検討をお願いいたします。</p>	<p>放課後児童クラブは、保護者が就労等により昼間家庭にいない小学生に対して、授業の終了後、施設を利用して適切な遊び及び生活の場を与えて、その健全な育成を図る事業です。</p> <p>ご意見をいただきましたとおり、当市の放課後児童クラブは18時までの開所となっておりますが、開所時間延長のニーズがあることは把握しております。</p> <p>そのため、昨年度から開所時間延長について、運営を委託している沼津市放課後児童クラブ連絡協議会と協議をしているところですが、時間延長により、勤務する支援員の労働条件の変更を伴うこと、受け皿拡大により新規支援員の人員確保が困難となること等から、開所時間延長については、慎重な検討を要するとの結論に至っており、この課題については、引き続き検討・協議してまいります。</p> <p>また、現在、小学校等へのお迎えや子どもの預かりなどを支援する「ファミリー・サポート・センター」を沼津っ子ふれあいセンター内に設置しております。放課後児童クラブのお迎えにこちらをご利用されている方もいらっしゃいますので、ご活用をご検討いただければと存じます。</p> <p>今後とも市民の皆さまのご意見を参考に、子育てのしやすい環境づくりを目指して取り組んでまいります。</p> <p>※ファミリー・サポート・センターとは 子どもの習い事の送迎、放課後児童クラブや保育園のお迎え等、安心して働くことができるよう、また急な用事で一時的に子どもを預かってほしい方のために、センターを通して依頼できる会員制の組織です。 入会方法や費用、仕組み等の詳細は、市ホームページもしくは事務局に直接お問い合わせください。 沼津市ホームページ→「沼津市子育てポータルサイト」→「預ける(保育園や一時預かり)」→「ファミリー・サポート・センター」 ファミリー・サポート・センター事務局 場所:沼津市大手町1-1-3 沼津商連会館ビル4F(沼津っ子ふれあいセンター内) 電話:055-952-8078</p>	子育て支援課

受付日	完了日	件名・内容	対 応	担当課
12月17日	1月16日	<p>プレミアム商品券の発行展開 余所者ながら失礼いたします。 以前にも、僭越ながら意見や質問をさせていただいていた者です。 今回は、プレミアムつき商品券について申し上げます。 我が国は、国家の20年以上続く緊縮財政にある中、完全にデフレから脱却できず、賃金やGDPの伸びも低迷しております。にもかかわらず、来年には消費税増税が予定されており、景気の一層の悪化は避けられないでしょう。</p> <p>一方、貴市ではららぽーとが来年に開業となり、中心市街地商店街への影響も懸念され、今は交流人口、関係人口拡大に一役買っている『ラブライブ！サンシャイン！！』による経済、地域活性化への好影響も、来年1月公開の劇場版終了後に新たなコンテンツ展開がなければ、今後は『ラブライブ！サンシャイン！！』による好影響も徐々に薄れていくでしょう。</p> <p>そういった懸念材料が多くある中で、貴市におかれましては、来年は確実に沼津市における景気は悪くなると想定し、今ある好材料を最大限に活用した経済対策を展開されるべきと考えます。</p> <p>その好材料の一つが先述の『ラブライブ！サンシャイン！！』と私は考えます。</p> <p>現在の沼津市での『ラブライブ！サンシャイン！！』によるムーブメントが完全に終わる前にプレミアムつき商品券を発行し、その際に商品券の絵のデザインに『ラブライブ！サンシャイン！！』の商品券限定のイラストを乗せたプレミアムつき商品券を発行できないでしょうか。</p> <p>発行できた場合、現在の沼津で『ラブライブ！サンシャイン！！』が地域経済活性化につながっている点を考えますと、作品のファンは間違いなく購入し、沼津市内で消費をふやしてくれるに違いありません。</p> <p>できれば、使える店舗を小規模店舗に限ると、商店街におけるららぽーと開業対策の一つにもなり得ます。</p> <p>また、その際にプレミアムつき商品券発行と連動させ、沼津市内限定でオリジナルの『ラブライブ！サンシャイン！！』グッズを市内商店街や観光業も協働する形で展開し、そのグッズを購入に先述のプレミアム商品券を使用できるようにすると、プレミアム商品券による経済効果はさらに拡大する可能性があります。また、いわゆる作品のファンは『ラブライブ！サンシャイン！！』仕様のプレミアムつき商品券を購入しても、記念に保存する人が多発し、商品券利用が鈍い可能性もありますから、何か連動した展開も必要だと思った次第です。</p> <p>プレミアムつき商品券は、沼津市内の経済状況を根本的に改善するものではないでしょうが、現在貴市の持つある種の財産を最大限に活用し、近い未来に想定される経済的リスクに備える一環としては大いに有効と考えます。</p> <p>なお、似たような展開を秩父市がなされていますから、参考にさせていただきたいと思います。</p> <p>最後に貴市が今後プレミアム商品券を発行し、『ラブライブ！サンシャイン！！』というコンテンツを活用されることを、検討されるかを伺います。</p>	<p>アニメ『ラブライブ！サンシャイン!!』につきましては、お陰様で2016年のテレビ放送開始以来、多くのファンの方々に、沼津市にお越しいただいております。2017年には主人公らを演じる声優ユニットAqoursの皆さんに「燦々めまつ大使」に就任いただき、沼津の魅力をPRする活動をお願いしているところであり、また、2018年のNHK紅白歌合戦の出場に際しては、市を挙げて応援をしたところであります。</p> <p>ご指摘のとおり、本市においては、来年度、大型商業施設「(仮称)三井ショッピングパークららぽーと沼津」が出店されることから、交流人口拡大や雇用確保といった好影響が期待されております。また、中心市街地においては、リノベーションによる遊休不動産の再活用や、各種のイベントの開催など、様々なにぎわいづくりに取り組んでいるところであり、ららぽーと開業後は、その好影響を、中心市街地に波及させる取り組みを行う必要があると考えているところです。</p> <p>このたびご提案いただいた、『ラブライブ！サンシャイン!!』イラスト付きプレミアム商品券の発行につきましては、地域の消費活動を喚起するための取り組みとして有効なものであると思っておりますが、プレミアム部分の財源の確保や、どこが実施運営主体となるかなど、実施に際しては、いくつかの課題があるものと考えております。いただきましたご意見につきましては、地域の経済団体等と情報を共有し、今後の取り組みの参考とさせていただきます。</p>	商工振興課

受付日	完了日	件名・内容	対 応	担当課
12月19日	2月5日	門池小学校 学童保育 急な人数の増加による定員オーバーによる定員オーバーがでる。校区の区切りの変えるようなことをしてほしい。(岡の宮を金岡へ)	門池小学校区では近年、児童数が増加し、今後、普通教室の不足が見込まれることから、現在、平成31年8月中の完成を目指し、校舎の増築を行っているところであります。 放課後児童クラブも利用者数が増加しており、昨年度に1クラブ増設し本年度も秋までに2クラブの増設を予定しているところであります。しかしながら、平成31年度の入会につきましても、たくさんのお申し込みをいただきました結果、年度当初に多くの待機児童が発生することとなりましたことから、門池放課後児童クラブを運営している運営委員会及び関係者と待機児童の受け入れについて協議を重ねましたところ、職員を更に増員し、クラブ完成までの間、緊急的措置を取ることで、できるだけ多くの児童を受け入れることといたしました。 また、学校区の見直しについては、通学時の安全確保や様々な学校運営への影響を十分考慮する必要があると同時に、学校区は自治会や子ども会活動など、地域と非常に密接なつながりがあるため、関係する全ての自治会等との十分な協議と地域住民との合意形成が必要不可欠となります。このことから、学区を早急に見直すことは困難であります。今後の児童数の推移等を踏まえつつ、学校の適正規模・適正配置や学区のあり方について、必要に応じ地元とも協議しながら研究してまいります。	子育て支援課
12月25日	1月7日	地域自治課の生活環境部への編入機構改正 現在地域自治課は企画部の傘下となっておりますが、より市民協働を促進するためには、日々の市民との生活に直結した業務を行っている生活環境部に編入させるのはどうでしょうか。 地域自治課が担っている各自治会の支援や市民の市政参画等は、生活環境部が担っている住んでいる沼津の環境を向上させることと相関性が高く、まず今住んでいる町内をきれいにしようとする行為は、誰でも始められる市政への参加の第1歩だと思われ、その権限を生活環境部長に一元化することにより、迅速かつきめの細かい対応が可能だと思います。	本市の行政機構における各部の役割については、沼津市事務分掌条例に規定されており、生活環境部は、環境衛生に関すること及び環境の保全及び公害の防止に関することを分掌するために設置されております。 一方、地域自治課は、企画部の事務分掌における、市民活動に関すること及び交通安全に関することを分掌するために設置されており、地域振興係、交通・防犯対策係、協働推進係、国際係の4係により構成しております。 この4係が担当する業務については、それぞれの業務内容を精査・検討した中で、沼津市事務分掌条例に基づき、企画部において事務を行うことがふさわしいと判断しております。 また、行政組織の改正につきましては、行政課題に対応した組織の強化・改善、市民サービス向上及び簡素で効率的な組織といった視点に立ち、各部署の現状や課題、今後の事業計画などを調査し、各部署との意見交換を行いながら、内部検討を十分に重ねたのち、決定しており、地域自治課については、企画部に設置することが適切であると認識しております。 ご指摘の、「市民への迅速かつきめの細かい対応」は大変重要なことでありますので、生活環境部に限らず、地域自治課と所管部局が相互に連絡しあい、情報の共有と連携に努め、市民への対応に不備が生じないように心がけてまいります。 今後とも、本市の行政課題に対応した組織体制の見直しを進めてまいりますので、市政へのご理解とご協力を賜りますよう、お願いいたします。	政策企画課

受付日	完了日	件名・内容	対応	担当課
12月25日	1月16日	<p>千本公園内にある文学碑 井上靖の文学碑の中にあるモニュメントの意味と設置理由が解りましたら、教えてください。</p>	<p>ご質問いただきましたモニュメントは、千本浜公園にあります、井上靖文学碑の中心に置かれた彫刻作品で、文学碑が建てられた昭和38年に木村 賢太郎氏により制作されました。文学碑除幕式に際しての木村氏の言葉として「作品は井上文学からの発想ではなく、千本松原の自然美と彫刻の人工美を対決させて、より高い美しい空間造形をすることを前提として制作したもの(要約)」と残されており、特にこのモニュメントと井上文学との関連はないものと考えられます。</p> <p>モニュメント以外の、碑文の刻まれた石壁及び、モニュメントの台座にあたる敷石などの設計は、建築家 菊竹 清訓氏の手掛けております。碑文の刻まれた石壁が「光」、モニュメントの台座が「影」を象徴し、千本松原すべてを背景に光と影を意識した設計がされています。</p> <p>この文学碑は、井上氏と同じ沼津中学(現、県立沼津東高等学校)の卒業生、岡野 喜一郎氏、斉藤了英氏らにより、日本の文学に貢献した井上氏に対し、友愛と尊敬の念を表現するために設置されたもので、その後市に寄贈されました。</p>	文化振興課